

## 令和4年度第1回鎌ヶ谷市きらりホール運営委員会 会議録

日 時：令和4年11月17日（木） 午後3時～午後5時

会 場：きらりホール 舞台

出席委員：平栗三男委員長、齋藤譲一副委員長、小川宏宜委員、清水暉允委員、  
内山治委員、伊藤眞由美委員、植草ひろみ委員、小川由美子委員、  
石井圭子委員、佐瀬光代委員、榎本美紅委員、加藤嘉美委員、  
坂本尚也委員

指定管理者（株式会社セイウン）：きらりホール林館長、渡邊副館長

指定管理事業本部：加藤寿一、小倉茜、木内美里

事務局（文化・スポーツ課）：市村課長、後野副主幹、宮田

欠席委員：相川慶彦委員

傍聴者：0人

### 1 開会

- ・教育長挨拶
- ・新規委員紹介

### 2 会議録署名の指名

- ・伊藤委員、齋藤副委員長に決定。

### 3 議題

～指定管理者 株式会社セイウンより、資料1・2に沿って説明～

#### ①議案第1号「令和4年度上半期事業報告」

委 員： ホールの運営が上手くいっているのは、指定管理者の努力の賜物である。以前から伝えているが、広報活動が非常に重要であると思う。全戸配布のきらりホールのニュースについて、全戸配布回覧に必要なという意見もあれば、役に立つので必要だという意見もある。友の会の会員でも同じチラシが来るので、配布方法を見直した方が良いのではないか。

また、内容も出演者がどのような人物か、どのような内容のイベントなのかを詳しくした方が良い。シニア層も多いので、よりわかりや

すくした方が良い。

バックステージツアー企画の、市域新聞等の取材を受けるべきではないか。見た子供が興味を持つのではないか。

企画に参加をした子供たちが、自由研究など学校で発表してくれると、学校などでも取り上げてもらえ、更にきらりホールを知ってもらうきっかけになるのではないか。

指定管理者： きらりホールで発行している全戸回覧チラシ（きらり☆NEWS）については、今後、より中身を濃いものにしたと考えている。どんなホールなのか、どんな人が運営しているかなどのよもやま話なんかも盛り込んでいきたいと考えており、公演のお知らせについても、今年から出演者インタビューをし、出演者の心情や人となりも分かるような内容を盛り込んだものを作成している。分かりやすく、よりリッチな内容になるよう、努力していきたい。

バックステージツアーのお話に関連して補足すると、8月に子ども向けのファミリーコンサートを行う予定なので、その際に参加者にはナレーション等で協力してもらう予定である。

委員： 小中学校の振替休みの月曜日にも、子供が参加できるイベントを企画して欲しい。月曜日は図書館も休みなので、子供が行くところが無く、ゲームセンター等に集まっているのを見ると、親としても複雑なので、地域の学校の予定にも合わせた企画等があると良いと思う。

委員： きらりシネマがだいぶ浸透してきており、8月の上映を鑑賞しに行ったが、タイムリーな作品選びで、自分自身が戦争を知らない世代なので、とても考えさせられた。それ以外にも、いい作品も多く素晴らしいとは思いますが、いつも同じような曜日にやっているの、中々行きづらい人もいるかと思うので、もう少しばらけた日にするか、運営費用的に難しいかもしれないが、上映数を二日に分けるなど、増やしても良いのではないか。

バックステージツアーに参加させてもらったが、普段は出演者側で、舞台のスポットライトが当たる方にいるが、裏方の作業も経験させていただき、プロにしかできない危ない作業も見学できた。舞台をつくる上で、より気持ちが入りとてもいい経験となった。この企画の対象年齢が4年生から6年生と低く、危ない箇所も多いので小さい子供は難しいかもしれないが、大人は楽しめると思うので、年齢の幅を広げ

ても良いのではないか。

アーティスト発掘プロジェクトで夢を掴むきっかけとなった人も  
いるので、この企画もとても良いし、知り合いが鎌ヶ谷市の市民創作  
ミュージカルを経たことで演劇に興味を持ち、声優養成学校へ進み、  
声優となる道を決めた。夢を決めるきっかけが鎌ヶ谷市のきらりホー  
ルから生まれたことは素晴らしいことだと思う。

委員： きらりホールでは学生の職業体験は行っていないのか？

体験をすることで、将来の職業を決めるきっかけになるのではない  
か。

指定管理者： 中学校の職業体験は行っていないが、小学校の社会科見学はやって  
いた時期もある。新型コロナウイルスの関係で、今は実施していない  
が、今後検討したい。

委員： 鎌ヶ谷市の芸術祭にも出演し、アーティスト発掘できらり賞を受賞  
した二胡を演奏する子供が、取材を受けるなどして有名になっている。  
関係者や親からもたくさんのお話をいただいております、新たなアーティ  
ストの発掘を応援したい。

委員： 年齢層のターゲットを絞って友の会の宣伝をしていくのも、難しい  
事かもしれないが、良いのではないか。

委員： 友の会以外の方にも、年代を絞って別に作成したチラシを配った方  
が良いのではないか。

指定管理者： 友の会の会員募集やチラシ、公共施設へのポスター掲示にも力を入  
れていきたい。チラシや広報、宣伝のやり方については、今後検討し  
ていきたい。

委員： 公共施設のポスターや回覧は見えていない人がほとんどだと思うので、  
刺さる層に刺していかないともったいないと思う。

指定管理者： 新聞の折り込みチラシなども考えている。

委員： 新聞もとっていない世帯が多い。

委員： 市民創作ミュージカルは毎回見ているが、前回（R3）が一番良か  
った。もっとたくさんの人に見て欲しい。市の職員は3割4割しか市  
民がいないので、見えないように思う。ぜひ、市の職員にも見て欲  
しいと考えている。市民の努力と頑張りがチケット6割ではもったい  
ないと思う。

委員： 山宮さんのワンコイン+コンサート等のあまり知名度のない方を出

演させるのは、周知にも繋がりとても良いことだとは思いますが、価格設定をワンコインにしてしまうと、次回コンサートを開く際にハードルが高くなってしまい、なかなか値段を上げられず価格設定に悩んでしまうのではないかと。

好評だった出演者は、次回も呼び、正規の値段で出演できる機会を設けてもよいのではないかと。

指定管理者： 演奏者サイドの意見はとても貴重であり、有難い。

ワンコインコンサートについては、始めた時から毎回、楽器を変えており、1時間という短い時間の中、市民の方にいろいろな音色を楽しんで貰い、気軽に入れる音楽鑑賞の入り口として企画しているため、どうしてもお客様ファーストな考えに寄ってしまう傾向がある。出演者様の次のステップを考えていけるよう検討したい。

委員： お客様の声、評価を前面に打ち出して次に繋げられるとよい。

委員： きらりホールには市民会館時から映写機が無いため、映画会社が良い映画の貸し出しを行っていない。スクリーンを使った上映の選定も難しいのではないかと。

委員： J-COMを見ている人が意外にも多く、J-COMの取材時に少しきらりホールの宣伝をさせてもらえばよいのではないかと。

バックステージツアーも素晴らしいが、劇場入門の企画にもぜひ参加したかった。子供の夢を応援するのも大事だと思うが、人生100年時代となったので、年を重ねた人でも、演劇を学ぶことで人生のいいヒントをつかむきっかけになるのではないかとと思うので、今後も続けていってほしい。

委員： J-COMの取材は毎週生放送しており、告知であれば1分間のネタを探していることもあるので、活用すべき。

アプリでも見られるので、J-COMに入っていない人でも見ることができる。若い世代への宣伝にもなると思う。

子供の体験については、アナウンスだけでも、いろんな企画で参加してもらいたいと思う。子供がアナウンスした方が、ちゃんとお客さんに聞いてもらえるメリットもある。自分が関係するイベントについてはぜひ協力したい。

今回、D-partyのチラシ配布は、チラシが余るほど応募があった。情報源は不明だが、集まった生徒もリピーターだけでなく、新

規と半々であった。

今年のチアダンスの先生は18歳でプロ一步手前の実力者であり、若手のプロが増えてきている。

D-partyに関わらせてもらっているが、きりりホールからもっとプロが生まれると良いなと思っている。

また、表彰・取材を受けるというのは、子供にとっても良いことだと思うので、鎌ヶ谷市出身の若手のアーティストにもっと目を向けて、企画をしていただくと良いと思う。

現在行っている発掘プロジェクトは、既に活動されているプロのような実力の方が多く、そうでない方が参加しづらい気がする。

発掘というくらいだから、原石が参加しやすいプロジェクトにしてほしい。

委員： 合唱祭などの学校の事業が、コロナの影響で無くなってしまっているが、感染対策を施した上で、学校関係でもまた参加をしたいと考えている。

委員： 鎌ヶ谷市のコロナへの規制が厳しいのではないかと思う。世間に合わせたものにしていくべきだと思う。

鎌ヶ谷市はシニアが多いため、シニア世代が対象となってしまうのは分かるが、子供が集まれる企画ももっとほしい。例えば、セイウンさんの笑育の事業で、練習をしてホールでの発表があるとの事で、ぜひ見てみたい。好評だった子には寄席の前に、ネタを披露する場を設けるなどがあっても良いのではないか。

指定管理者： 笑育の発表は親も見に来られるよう、フリーの座席になっている為、誰でも見られるようにしているので、是非ご覧いただきたい。

委員： 親でなくても良いのか。

指定管理者： どなたでも入場可能である。

委員： 子育て世代、県外の方もそうだが若い世代は、WEBを見る機会が多いので、企画等に参加したい方で、初めての方、詳しく知りたい方のための情報を多くのせたブログの新規開設も良いのではないか。いろいろな企画があるが、チラシでは内容や雰囲気あまり分からず、参加はしてみたいが一步踏み出せないという方が多くいる。ブログで場の雰囲気や魅力を伝えることで、参加するきっかけになるのではないか。

委員： Twitterは現在更新していないのか。  
指定管理者： 現在は控えめに更新している。

## ②議案第2号「令和5年度事業計画」

委員： 世良さんのチケットの金額設定が高すぎるのではないかと。高価なので客足が遠のく原因となるかと思う。

東京大衆歌謡楽団は、今話題の方々なので知っているが、この方たちは、宣伝をより良いものにすれば、必ずチケットが売れる見込みがある。とても良いものなので、満席にしたいと考えている。

映像権等で難しいかもしれないが、きらりホールロビーのモニターで、ダイジェスト映像を流すなどして、宣伝・紹介をした方が良く思う。

指定管理者： 世良さんのコンサートチケット料金については、現在、7,000円で資料を提出しているが、6,500円にするよう世良さんの事務所から話がある。全国一律6,500円にするよう事務所から指示があった為、6,500円と表記させていただく事になると思うが、友の会価格については指定管理者の任意であり、縛りが無いため、値段の検討を行う予定である。

東京大衆歌謡楽団については、行政の許可が出れば、モニターでの紹介も考えていきたい。

委員： 令和5年度きらりシネマのスケジュールと映画プログラム選定の基準を知りたい。

指定管理者： 映画は4月、6月、10月、翌年の1月に予定をしている。

プログラム選定の基準は、大勢の方が見られるように、年齢層を選ばないもの、みんなが知っている人が出演しているもの、良作なのに見逃しているもの、見ごたえのあるものを選ぶようにしており、気軽に来て、息抜きできるものを目指している。押しつけになってしまうよう特にテーマを設けていない。

映画については好評で、毎月上映して欲しいという声も多数ある。

今年度8月に上映した戦争ものの上映については、時期に合わせたものでもあるのだが、あまり押しつけをしたくないので、今回は試験

的に導入した。

お盆中の上映であった為、あまりお客さんは集まらなかったが、子供連れの家族で来ていた方も数名いた。

委員： 市民全体のどれだけの方が、きらりホールを知っているか、また、大切にしているか。市民の中にもきらりホールに来ていない人が多い。その方々が税金を払っており、それで運営をしている。その責任を我々きらりホール運営委員が再度認識していくべきだと思う。

行政が厳しい状況になっているので、市民に支えてもらわないと劇場の運営は成り立たないと思うので、委員の皆様の努力をもっと伝えて、認知度を高めていかないといけないと思う。

### ③今後の予定とお知らせ

～事務局から説明～

事務局： 今年度で委員の任期が終了するが、各団体の代表者様につきましては、来年度も引き続きお願いしたい。公募委員様につきましては、12月15日広報で、公募委員の募集を行う予定である。

また、来年度の日程については令和5年7月に書面会議、同年11月に第1回会議を行う予定。委員の皆様からのご意見については、随時、文化・スポーツ課で承っていく。

## 4 閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違のないことを証するために次に署名する。

令和 4年12月21日

氏名 伊藤 眞由美

氏名 齋藤 譲一